

議会だより



ガンバレ!! ゴールは目の前 (原保育所)

平成 24 年 11 月
第 145 号

町のホームページで議会だよりや議会の
会議録等を見ることができます。

<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp>

一宮町役場議会

検索

一宮海岸管理条例 を可決

- 9月定例議会で決まったこと…………… (2)~(3)
- 一般質問6名の議員より…………… (4)~(9)
- 視察研修報告・議会の主な動き・編集後記… (10)

九月定例議会・専決・条例

平成24年第3回定例議会は、9月18日に開催され、町長の行政報告をはじめ、一般質問は6名の議員が行いました。

また、議案として専決処分の承認1件、報告2件、条例の制定2件、条例の一部改正2件、規約の一部改正の協議1件、一般会計・特別会計補正予算が原案どおり可決しました。

平成23年度一般会計・特別会計の決算認定は、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査に付託しました。



海岸管理条例により町の工夫が期待される一宮海岸

決算審査特別委員会を設置

委員長	鶴岡 巖
副委員長	中村 新一郎
委員	志田 延子
委員	鶴野澤 一夫
委員	小安 博之
委員	鶴沢 清永

一般会計補正予算（第3次） 専決処分承認

一般会計補正予算（第3次）は、地方自治法の規定に基づき、7月6日、町長の専決処分措置され、その内容について報告があり、承認しました。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3百59万8千円を追加し、総額を37億5千9百53万6千円としたものです。

千葉県において「輝け！ちばの園芸産地整備支援事業」の制度改正が行われ、園芸施設（鉄骨ハウス）のポリオレフィンフィルム張替えが補助対象に追加されたところ、7件の越冬トマト生産者から要望がありました。7月中にハウスの改修を行わなければ、苗の定植など生産過程に支障をきたすため、急遽、必要経費を措置したものです。

一宮海岸管理条例の制定

平成12年に海岸法の改正が行なわれ、海岸管理に市町村が参画することが可能になりました。一宮町が海岸管理を行なえば、一宮海岸の観光・環境整備を考えて行く中で、一宮海岸とその周辺を一体管理することが出来、年間を通じた観光資源としての活用が可能となり、かつ、

海岸周辺の整備等を計画的に推進することができます。そこで、現在は千葉県が行なっている海岸の日常管理を一宮町に権限移譲を受けるために、一宮海岸管理条例を制定するものです。

一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

地方分権等による行政の高度化・多様化等に伴い、専門的な知識経験・優れた識見を一定期間活用して業務を遂行することが特に必要な場合や、一定期間内に限り業務量の増加が見込まれる業務に対応する職員を採用するために、地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づき、必要である条例を整備するものです。

町長等の給料の特例に関する条例の一部改正

町長・副町長・教育長の給料を平成24年10月1日から平成25年3月31日まで、一定額を減額して支給するよう定めるもので、減額率は次のとおりです。

減額率	町長	20/100
	副町長	20/100
	教育長	5/100

災害対策本部条例の一部改正

町の災害対策本部設置根拠である災害対策基本法の一部が改正されたことを受けて、改正するものです。

設置根拠	旧 災害対策基本法	第23条第7項
改正後	同法	第23条の2第8項

千葉県後期高齢者医療広域連合 規約の協議

外国人登録法の廃止により、在来外国人も住民基本台帳法の適用を受けることに伴い、千葉県後期高齢者医療広域連合規約中の「外国人登録原票に基づく人口」を削除する規約に改正するための協議です。

一般会計補正予算（第4次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ7千1百34万1千円を追加し、総額を38億3千87万7千円とするものです。

主な内容は、千葉県緊急雇用創出臨時特例基金事業を活用した防犯灯台帳や固定資産税基礎資料などの整備委託料5千2百52万8千円、上総一ノ宮駅東口開設に向けた基本計画作成委託料3百67万5千円、町道における水道管入替に伴う本復旧工事費1千2百89万4千円などです。

国民健康保険事業特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6百29万8千円を追加し、総額を14億3千4百50万7千円とするものです。

内容は、平成23年度高齢者医療制度円滑運営事業補助金及び出産育児一時金補助金、退職者医療療養給付費等交付金の精算に伴う返還金確定等により不足額を増額するものです。

介護保険特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ25万2千円を追加し、総額を8億9千8百10万4千円とするものです。

内容は、人事異動に伴う人件費の増額と、24年度から実施される、県の10割補助事業である介護度重度化防止対策事業に伴う経費及び23年度の支払基金交付金額が確定したことに伴う、追加交付です。

後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額からそれぞれ3百47万6千円を減額し、総額を1億2千7百21万9千円とするものです。

内容は、人事異動に伴う人件費の減額によるものです。

農業集落排水事業特別会計 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ62万6千円を追加し、総額を9千6百60万2千円とするものです。

内容は、人事異動に伴う人件費の増額によるものです。



報告

健全化判断比率及び資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成23年度決算の一宮町健全化判断比率及び農業集落排水事業特別会計の資金不足比率の報告がありました。各指標とも基準値の範囲内にはありますが、財政運営は大変厳しい状況との説明がありました。

健全化判断比率

項目	一宮町比率 ()は前年度数値	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	35.00
実質公債費比率	11.0(12.1)	25.0	35.0
将来負担比率	53.0(76.1)	350.0	

資金不足比率

会計名	一宮町比率	経営健全化基準 (イエローカード)
農業集落排水事業特別会計	—	20.00

※比率に数値が入っていないのは黒字のためです。

いじめ等への対応は



藤乗一由議員

問題は隠さず対応

③全国学力学習状況調査の結果から、小中学校での状況と今後の教育方針。

小中学校での教育環境・学力・いじめの問題について伺う。

町田教育長

①いじめは決して許されませんが、常に起こり得るものである。万一、問題が生じたときは、それを隠さず、学校・教育委員会と家庭・



毎月行われているチャレンジクラブ

地域が連携し、県教育委員会の指導も受け対処する。

②当クラブは、親と子の協働と、異年齢の仲間との集団体験を通じ、良き社会人になるための基本の習得が目的である。

③本年4月に実施した全国学力学習状況調査の、当町の小・中学校の結果は、全

国平均と比較すると全体的にやや下回るが、これは実施時の誤差の範囲とも考えられる。

今後、結果の詳細を教育委員会にて分析し、各学校と協議して、教育施策の成果と課題を検証の上、児童生徒の学力向上に取り組んでいく。

どうする観光客減少

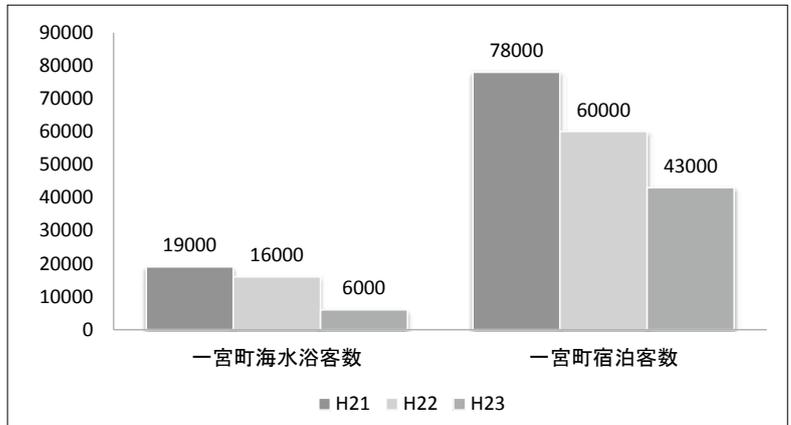
東日本大震災の影響で、外房地区の観光客数は、平成22年度と比べ激減しており、他産業への影響も心配される。

九十九里地域・外房地区の宣伝活動の強化は町単独では難しく、県主導により推進し、立て直しを図るよう、関係自治体と共に強く要望すべきである。

町でもこれに連動して、各種イベントで一層効果をあげるためのPRや工夫が必要であるが、考えを伺う。

県によるPRを要望

玉川町長 県は本年度新規



一宮町海水浴場・宿泊客入込み数 (H21～23)

事業で、リピーター定着と観光客増加を目指し、観光客への九十九里有料道路の無料券配布をしている。

町では、千葉県観光協会や長生地区観光連盟、中房総観光推進ネットワーク協議会へ加盟し、各実施イベントには、特に積極的に参加し、観光客の誘致に努力してきた。

10月6日から開催の、「ツール・ド・ちば2012」や、来年の2月以降当町で

新庁舎建設は

地元優先で



鵜野澤一夫議員

新庁舎建設は、*公募型プロポーザルデザインビルド方式で行うが、この方式だと大手ゼネコンしか参加できない。この新庁舎は、



建て替えが予定されている一宮庁舎

津波による一時避難所や災害対策本部など、災害への対応を重視した内容となっている。

しかし、大災害が起きた場合、町だけでは対応できず、町内の土木建築業者をはじめとした地元企業の支援が必要になる。地元以外への発注では、地元企業が力を失い、いざという時に

困るのは明らかである。地元企業優先の考え方でして、下請契約の条件付けについて町として取り入れてもらいたい。町の見解を伺う。

*公募型プロポーザルとは、参加希望者を募り、設計の取組方針等の提案を総合的に評価して設計者を決める方法。

*デザインビルド方式とは、設計・施工一括発注方式で、建設コストの削減が図れることが一つの利点とされる。

地元発注に努める

玉川町長 下請契約の条件付けについては、競争性確保の観点から、千葉県や他の自治体も努力義務としており、理解してほしい。

今後は、総合評価方式を部分的に取り入れ、地元経済の活性化、地元雇用の確保・安定に繋げていく。

そして、新庁舎建設完成後発注を予定している既存庁舎解体工事や外構工事などについて、地元企業の受注機会の確保に努めたい。

長生グリーンラインの早期開通を

圏央道開通にともない、各市町村は様々な経済効果を考えている。

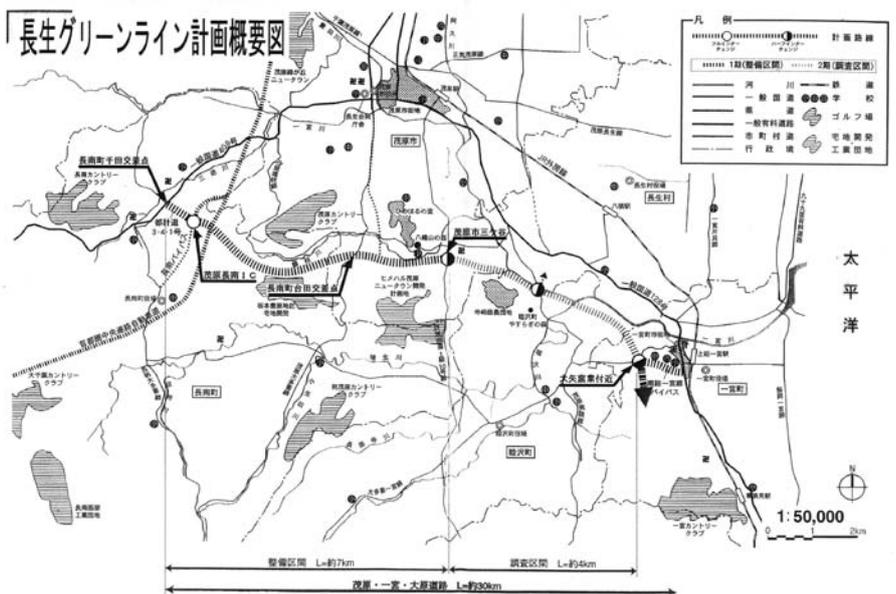
茂原市は茂原北IC近くに、工業団地の造成を計画している。白子町は茂原北ICの名称「茂原北」に「白子」の名称を追加し行楽客を呼び込もうと考えており、同時に建設中の県道茂原白子線のバイパス道路の完成を要望している。

一宮町も具体的方策を考えなければ立ち遅れてしまう。外房の玄関口として、観光や様々な産業の町として一宮町を発展させてほしい。

そのために、長生グリーンラインの茂原・一宮区間の早期着工を関係市町村とともに国に働きかけてほしい。町の見解を伺う。

国・県に強く要望

玉川町長 圏央道が開通し、また、アクセス道路と



位置付けされている長生グリーンラインが早期に開通し、さらに南総一宮線と接続されれば県外からの利用者が増加し、長生地域全体の経済波及効果が期待される。

そこで、一宮町では、開通を見越したアクションとして、中房総観光推進ネットワーク協議会に参加し、イベントや観光PRを行ってきている。また、長生地域観光連盟・一宮町商工会などとも連携し、活動を行っている。

長生グリーンラインの早期開通に向けて、再三、国・県へ陳情・要望活動を行っているが、今年度中に圏央道が開通するので、強く要望していく。

新にここにこサービスの

疑問点を問う



志田延子議員

①パンフレットには「65歳以上の住民と身体障害者であらかじめ登録し、1人で

乗降できる方」と記されている」と記され1人で乗降できる方とは書かれていない。

乗降できる方」と記されている。町の「わかりやすい

予算書」には、「高齢者や身体の不自由な方が、町内のどこでも送迎する新にここにこサービスを行っている」と記されているのか、最終的な責任の所在は。



利用者にはサポートが必要な方も多い

介助が必要な人が介助人なしで利用することが可能か問う。

②現在無料で運行しているが、多少でも有料にすべきと考えるかどうか。

③運行中、乗降中、利用者が倒れたり、ケガなどした場合、運転手に対応等の指示をしているのか、最終的な責任の所在は。

利用上の周知を徹底

灯笼流しの反省点は

どの対応については、一宮町社会福祉協議会で、利用者及び運転手の異常時、事故発生時の対応について指導を行っている。最終的な責任は委託者の町である。

また、最近利用者宅で、倒れているのを発見した事例もあり、新にここにこサービスは高齢者の見守りにも役立っている。

中山福祉健康課長 介助者

については、登録時、登録後にも必要な場合は介助者の登録をお願いして、運転手に負担のからないよう進めていく。今後は、広報誌、ホームページで周知する。

玉川町長 有料化には、タクシー会社等に委託する必要がある、町の負担は1台につき1千万円もかかる。

シルバー人材センターを利用したドア・ツー・ドアの新にここにこサービスは、委託費も軽減でき、高齢者の働き場所の確保にもなるため、現在の無料サービスとした。

中山福祉健康課長 ケガな

8月16日の灯笼流しは、美しく盛況であったが反省

点を含め来年度どのように行うか伺う。

①シャトルバスがあることを知らない方が多かった。

②チラシに主催の観光協会の名が記されてなかった。

③案内地図がわかりにくかった。新一宮橋よりカモメ橋の方がわかりやすいのでは。

わかりやすいPRに

岡本産業観光課長 運営については、観光協会と共催



の玉前神社及び事務所の産業観光課で、昨年の反省点を踏まえ、6月から協議検討を行ってきた。

シャトルバスは、チラシに運行時間を掲載し、新聞折り込みで周知したが、ポスターには掲載がなく、主催者名を記載したが、チラシにはなかった。案内図には、新一宮大橋と明記したが、歩道専用のカモメ橋もある中で、住民にわかりやすい名称を記載すべきであり、PR不足を改め、今後は集客のためより良いポスターやチラシづくりを進める。

一宮川中州撤去は



袴田 忍 議員

下にではなくてはいけない。中州撤去について、今後関係機関への要望はしていくのか伺う。

法的な措置 を準備

昨年より今年にかけて河川改修事業が行われた。中州は旧護岸の撤去だけで終了し、いまだに大きな中州が残っている。防災上や環境を考えた場合、中州は完全に水面より

玉川町長 今回行われた工事では、中州にある千葉県所有の護岸撤去を行った。共有地本体の撤去について



防災上の不安を残す中州

は、現在の任意の買収方法では、最終的に未契約者が残り、行き詰ることが予想される。

県では、今後、法的な措置を取るための作業中とのことである。

町は、中州が1日も早く撤去できるよう、県及び宮原共益会と連絡を密にしながら協力していく。

自治会加入 の啓蒙は

自治会への加入について住民から、「何か得になることはあるのか?」「自治会費が高いから入会しない」といった声がある。

自治会は、地域住民の安全と、そこで生活する人の要望を出し合い、合理的に解決していく場である。加入を推進していく上で、次のことを伺う。

- ① 加入についての啓蒙活動は、
- ② 異なる自治会費についてどう考える。
- ③ 入会することによるサービスはどのようなものがあるのか。

自治会加入 を促進

峰島総務課長 町では転入届けの際に、住民課窓口で行政区や区長を知らせ、区への加入案内を行っている。

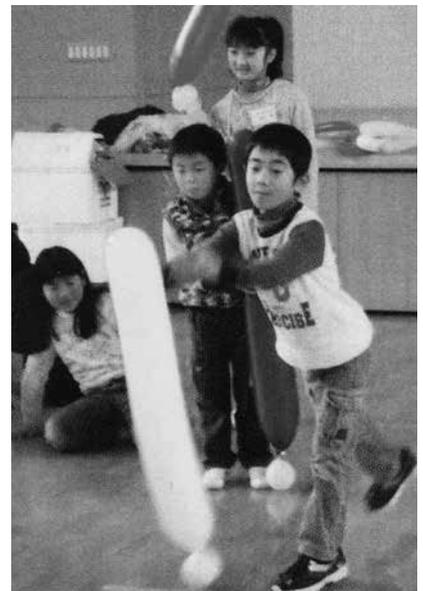
区費は、年額5千円〜1万円程度が一番多い。加入率の低下には、こうした区費の内訳がわかりづらいことも一つの要因と思われるので、区費を行事ごとに明確にして徴収するなど、工夫が必要と思われる。

自治会のサービスマも地区により活動が様々だが、情報の回覧、防災・防犯など地域の安全見回り、側溝清掃や花いっぱい活動など地域の環境美化等がある。

区は、地域の諸問題解決に取り組むと共に、各種行事を通して、絆が深まり、お互いが助け合うことでより良い生活環境となるので、今後も町ではいろいろな機会を捉えて区への加入を促していく。

いじめ 対策は

各機関との 連携で対応



楽しく遊ぶ子ども達

文部科学省は「いじめ」を苦にした児童生徒の自殺が起きた場合に、学校と教育委員会が、原因やその背景を速やかに調査できるよう支援する「子ども安全対策支援室」を設置すると発表した。

いじめだけでなく、部活動中の事故や自然災害、不審者による事件などで、子ども達が危険にさらされたりした場合の対応も、アドバイスするとした内容である。

事件事故が起きてからでは遅い。町は、子どもを守るための対策を、どのように考えているのか伺う。

町田教育長 いじめや事故等が発生した場合の対応は、学校から教育委員会へ報告を受け、それを速やかに千葉県教育庁へ報告する。県教育庁は、専門的な見識のなかから、いじめや事故等への対応についての指導・助言にあたる。

教育委員会と学校は、協力して迅速かつ適正な対応をし、必要に応じて、警察や児童相談所等との連携を行う。

今後、国及び県の指導や対策等を注視し対応していく。

駅東口開設

その後の取組みは



鶴岡 巖議員

駅東口開設は、庁舎前のたれ幕で、平成27年春を目標と示している。

この3月には駅利用者の実態を把握するため、アンケート調査を実施したが、調査結果から見えてくるのは何か。

町は、建設工事を縮減する。特に、町外の東口利用者等への寄付を呼びかける案内をどうするのか伺う。

まず東口開設計画を

齋藤まちづくり推進課長

するため、東口駅舎の新設を除いた方向でJRとの協議をするとのことだが、その他の年間維持管理費等の内容はどのくらいと考えているのか。

また、東口開設費用の協力を企業からの寄付や「ふるさと納税」といわれる「ふるさと応援寄付金」の取組みをあげている。

町は、調査結果からも利用者は東口開設を望んでおり、東口建設は必要と考えている。

年間維持管理費や人件費等の内容については、東口開設基本計画のなかで検討し、来年3月には報告したい。

玉川町長「ふるさと納税」等で、寄付をお願いする具体的な目標額を示し、利用者へ直接、理解をいただく広報活動を行っていく。

また、利用者のいる近隣の自治体にも出向いて協力を呼びかけていく。

役場西側交差点へ信号機を

危険な交差点の交通安全対策として、昨年12月議会

で信号機設置を求め、最近になり「事故多発」の注意看板が立てられた。

しかし、7月、8月、9月の計3回にわたり人身事故が発生し「一番危険な交差点」といわれる状態は解消されていない。

また、交差点北側の民家では、これまで、交通事故により数多くブロック塀が壊され、その都度修理を繰り返して、交通事故の不安は続いている。

そして、この交差点は幅22m都市計画道路内にあり今後、東口開設、新庁舎建設、海岸観光等による交通量の増加が予想される。

信号機を設置するためには、都市計画の見直しと同時に可能な交差点改良に取り組むべきと考える。見解を伺う。

早期実現に努力

小関都市環境課長

町は、交通安全対策として事故を喚起する看板や、交差点進入口へのドットラインの設置、カーブミラーの大型化等安全対策等に取組んできた。

信号機設置に向けて、茂原警察署等と協議してきたが、「信号機設置には大規模な交差点改良が必要」と

の指導を受け、クリアしなければならぬ条件があり、要望書の提出までに至っていない。

玉川町長 当該交差点は、県道と町道が交わる交差点であり、都市計画道路である。

現在、都市計画の見直し中であるが、事故が多発している現状を考え、具体的にどこを改良すれば信号機が設置できるのか、関係機関と協議を進め早期実現に向けて努力していく。



頻繁に事故が発生している役場西側交差点

募集!!

ふるさと応援団

皆様の応援が一宮町を元気にします!

一宮町は、九十九里線の最南端に位置し、東に太平洋の大海原、西部は丘陵が広がる風光明媚な町です。かつては、「東の大蔵」といわれ、大正時代から昭和にかけて数多くの豪士が別荘や邸宅を一宮町に所有していました。大正5年には、芥川龍之介がひと夏を過ごしています。

一宮町は、道徳な気風を求めて移住してこられる方に加え、良好な政を求めて多くのサーファーが移り住むようになり、人口増加率は県内町村で3位、住宅地の地価上昇率は、全国で3位です。

ふるさと納税制度について

「ふるさと納税」とは、ふるさとに贈る寄附金です。「ふるさと納税制度」とは、「ふるさと」を応援したい、「ふるさと」に貢献したいという気持ちを持つ納税者が応援、貢献したいと思う気持

共同体へ寄附を行った場合、寄附額の2千円を超えたる部分について個人住民税の所得割額の約1割を上限として税額を控除する寄附金制度のことです。

寄附金の使い道

皆様からいただいた寄附は、以下のような取り組みの推進に活用させていただきます。(寄附金の使途をこれらの事業の中から選択することができます。)

図書館整備事業	高齢者福祉事業
保育所整備事業	上総一ノ宮駅東口開設事業

自然エネルギー

活用の町に



塚場博敏議員

今年度予算では、地域における再生可能エネルギーの導入促進の目的で、県・町補助あわせて105万円（10件分）の太陽光発電システム設置事業補助を決めた。

しかし県事業に合わせた町補助事業の支出だけでは、積極性が感じられない。今、原発事故以来、自然



広がりにつつある太陽光発電

公共施設へも検討

エネルギー利用の取組みは、全国に広がっている。先進地では、地域経済を活性化し雇用を拡大する効果もあがるなど、取組む姿勢で大きな違いが生まれている。町の基本姿勢を伺う。

岡本産業観光課長 平成22年度に実施の「緑の分権改革」推進事業の構想概要では、太陽光・風力・水力・

廃食油・波・海流があったが、太陽光発電以外は、費用対効果と完成度の点で利用は困難と思われる。

しかし町では、再生可能エネルギー事業に着目し、町の特色である海と太陽と風力を生かした事業を模索する必要がある。

また、国内でも事業化が進む太陽光エネルギーは、今後建設する公共施設への太陽光パネルの設置を検討する。

高校統廃合の対応は

県立高校の統廃合が進み10年で17校が廃止された。統合された高校では、大きな問題もでていますが、県は新たな計画と実施を準備している。

夷隅地域の岬・大原・勝浦若潮高校の統廃合計画に高校存続を求める署名が短期間に4万人以上寄せられた。この計画にも、教職員・生徒・地域住民から危惧する声が多い。一宮商業高校をかかえる町の認識と対応を伺う。

懇話会で存続支援を協議

玉川町長 県は、県立学校改革推進プランによる、学校の再編・学科の再構成を進めている。

小規模な高校では、部活動の制限や、人間関係の構築に不安が生じる。統廃合による受験生の選択肢の減少、通学への負担、地域の衰退なども危惧される。

行政の効果や経済的理由ではなく、地域の発展や生徒の未来を考え総合的に判断すべきと考える。

町では、地域に多くの役割を持つ一宮商業高校の存続と、より魅力的な高校にするための懇話会を10月に開催し、どのような支援ができるか協議していく。

実効ある防災計画に

昨年の東日本大震災と津波被害を受けて県防災計画の見直しが行われた。

一宮町防災計画も県計画を受けて大幅な見直しの予



昨年11月に行われた避難訓練

定だが、その内容と重点項目を伺う。

住民等の避難誘導でのマニュアルに基づく日常訓練や、災害時要援護者等の福祉施設等との避難施設契約は積極的に行うべきである。

高潮・津波を防ぐ土塁建設は平成27年までの5カ年事業だが、町も被害を受けており早期実施を要請すべきであり、見解を伺う。

計画は見直しへ

峰島総務課長 現行の防災

計画は、基本的に全面改訂を予定している。

見直しの重点として、津波・地震・土砂災害・風水害による危険性を検討し、災害時要援護者対策さらに職員初動体制、避難所運営マニュアル等を具体的に作成する。

小関都市環境課長 平成24年5月に、九十九里沿岸部の防護施設の高さを6m、東浪見地先については6.5mにかさ上げが決まった。

玉川町長 防護施設の整備は、被害が大きかった旭市からが優先的だが、一宮町も被害を受けているので早期実施を要望していく。

議会報編集委員会

視察研修報告

8月1日・2日の日程で、群馬県吉岡町の議会だよりを編集している議会広報特別委員会の視察研修をしました。

『吉岡町議会だより』は、町村議会広報全国コンクールで入賞するほどの、素晴らしい議会だよりです。町民に読んでもらうための創意工夫が、いたるところに見られます。



吉岡町議会の皆さんと

①表紙は、町民が手にした時に強い関心を持つよう作成し、また、躍動感のある人物写真を掲載すること。

②「議会を傍聴して」や、「私もひとこと」欄などで、住民からの意見や、様々な声を掲載していること。

③「一般質問の行方」として、以前質問で取り上げた内容が解決するまでの経過を報告していること。

④全国町村議会広報研修会に委員全員が毎年参加していること。

この他にも、「見やすく、読みやすい」を心がけ、親しみやすく、だれでも理解できる編集となっているなど、大変勉強になりました。一宮町議会報編集委員会においても、今回学んだ様々な手法を用いて、レベルアップした議会報の発行に努めます。

鵜沢一男

【議長・議員が出席した主な行事】

7月

- 2日 ○ シルバー人材センター事業報告会
- 3日 ○ 長生郡町村議会事務研究会総会
○ 青少年問題協議会会議
○ 社会を明るくする運動実施委員会会議
- 4日 ○ 議会報編集委員会
- 5日 ○ 町村職員自治功労表彰式
- 12日 ○ 長生郡町村議会議長会臨時会
- 14日 ○ 海水浴場開設式及び安全祈願式
- 17日 ○ 広域組合議会視察研修(17～18日)
- 19日 ○ 一宮町例月出納検査
- 20日 ○ 議会報編集委員会
- 24日 ○ 睦沢町長選挙出陣式

8月

- 1日 ○ 議会報編集委員会視察研修(1～2日)
- 4日 ○ 一宮町納涼花火大会
- 8日 ○ 議員説明会
○ 公立長生病院運営委員会
- 16日 ○ 一宮川灯籠流し
- 17日 ○ 長南町納涼花火大会
- 20日 ○ 一宮町例月出納検査
○ 一宮町決算審査(20～22日)
- 24日 ○ 九十九里地域水道企業団理事会
○ 議員説明会
- 28日 ○ 一宮川地区湛水防除施設管理運営協議会
- 30日 ○ 広域組合議会運営委員会
○ 広域組合議会定例会

9月

- 1日 ○ 山梨県一宮町一心会交流会
- 8日 ○ 一宮中学校体育祭
- 9日 ○ 上総国一宮まつり
- 11日 ○ 議会運営委員会
○ 議会議員全体会議
○ 議会報編集委員会
- 13日 ○ 玉前神社秋季例祭
- 18日 ○ 定例議会
- 20日 ○ 一宮町例月出納検査
- 24日 ○ 議会報編集委員会
- 26日 ○ 千葉県町村議会議長会決算審査
○ 長生郡町村議会議長会臨時会
- 28日 ○ 広域組合決算審査特別委員会
- 29日 ○ 原保育所運動会

議会の主な動き(平成24年7月～9月)

編集後記

今年の夏は、9月に入っても連日の真夏日が続いた。こんなに秋を待ち遠しく思ったことはなかった。そんな中、今日は消費税込引き上げを決めたが、社会保障改革はこれからで、震災復興、原発依存からの脱却、景気回復など、とりわけTPP(環太平洋連携協定)の対応は、次のリーダーにとって重要な課題である。

民主党の野田佳彦首相が再選され、これもTPP参加に積極的と思われる。今話題の日本維新の会もTPP交渉参加を明確にしている。某新聞に「韓国の自殺率が経済協力開発機構加盟国のうち、8年連続で1位を記録」と書かれていた。どうしてこんなことになったのか。これは韓国が、政府、企業、学校、家庭すべてが「競争力」を口にし、ますます激化したことによるらしい。わが国もFTAやTPPに乗り遅れるな、の声を聞こえてくるが、競争社会にも限度があるのでは、と思えてくる。

(鳥崎 保幸 記)

発行：一宮町議会
編集：議会報編集委員会
〒299-4396
千葉県長生郡一宮町一宮2457
TEL 0475(42)1421

あなたも議会を傍聴しませんか！
次回は12月6日(木)
午前9時からの予定です